



カワロケ



●アメリカ (ニューヨーク)  
カッサ・ホテル・アンド・レジデンス  
Cassa Hotel and Residences

オープン 10年8月 (166室)  
TEL (1) 212-302-8700  
FAX (1) 212-302-8701  
www.cassahotelny.com



ニューヨークの洗練された雰囲気そのままの爽やかなブティックホテル。摩天楼にそびえる白いビルはまるでオペリスクのような。窓の配置によるものかスタイリッシュでエレガントな外観で、インテリアへの期待も膨らむ。ブロードウェイやタイムズスクエアへは至近距離。

客室のインテリアはクリーム色でまとめられたコンテンポラリーなデザイン。壁には印象派カメラマンの写真が飾られ、ブラックレザーのヘッドボードやオットマンなどの家具が温もりを感じさせる。客室に置かれているデザインやファッション関連の本はインテリアの一部のよう。こちらは購入も可能だ。アメリカ料理を提供するレストラン「1945」は今秋オープン予定。館内にジムはないが、ホテル・メラの施設を無料で利用できる。

●アメリカ (マイアミ)  
ザ・ヴィラ・バイ・バートン・ジー  
The Villa By Barton G.

再オープン 10年3月 (10スイート室)  
TEL (1) 305-576-8003  
FAX (1) 305-357-7960  
www.thevillabybartong.com



ヨーロッパの邸宅のようなホテルと思ったら、それもそのはず。イタリアの有名デザイナー、故ジャンニ・ヴェルサーチ氏の別荘だったこともある建物だという。元は1930年にカーサ・カジュアリーナとして建てられ、ヴェルサーチ氏の別荘となったのは1992年。2000年にはプライベートクラブとなり、客室数は少ないがホテルとしてもVIPに利用されてきた。昨年、イベントプランナーでもあり、レストランオーナーでもあるバートン・G・ワイス氏が100万ドル以上をかけて改装。モザイクが埋め込まれた豪華なプール、眺望を楽しみながらくつろげるルーフトップのラウンジ、噴水が美しいコートヤードなど、どこを切り取ってもまるで絵のようだ。客室やコンチネンタル料理を提供するレストランもクラシックで華やか。

●フランス (パリ)  
オテル・アテネ・パリ  
Hotel Athenee Paris

オープン 10年9月 (20室)  
TEL (33) 1-40-17-99-29  
FAX なし  
www.hotel-athenee.com



パリの名門ホテル「プラザ・アテネ」と混同しないように！ こちらはジャック・ガルシア氏によるブティックホテル。ガルシア氏といえば、パリの「コスト」「フーケ・パリエール」、カンヌの「マジェスティック」などを手掛けたインテリアデザイナー。何やらミステリアスな雰囲気のリセプションがまずはゲストを出迎える。19世紀のイタリア風のインテリアは少しこってり系。「椿姫」「アイダ」の4つの悲劇のオペラに想を得たという。劇場を思い起こさせるドレープが豊かな赤いカーテンの客室や、モノトーン系のインテリア、壁紙が印象的なインテリアの客室もある。ホテルの施設はバーとスモーキングルームのみ。ガルシア氏の作り出す怪しげな雰囲気に浸ってみたい人は、客室よりパブリックルームのほうがその世界観を楽しめるかも。

ホテルゴシップ

▼アメリカのお騒がせセレブタレント、パリス・ヒルトンさんが九月下旬、日本に入学できず成田空港の敷地内のホテルに一泊し、そのまま帰国したというハプニングがあった。来日直前にコカイン所持の有罪判決を受けたため、東京入国管理局が入国の可否を審査。翌日にヒルトンさんは入国希望を取り下げ、そのままチャーター機で帰国したようだ。宿泊したホテルは、「成田エアポートレストハウス」と言われている。ヒルトンさんは世界的なホテルチェーン、ヒルトン・ホテルの創業者一族、一泊数日間のホテルを予約していたとのことだが、その手前、空港近くにあるヒルトン成田にすらたどり着けなかったようだ。▼そのパリス・ヒルトンさん。八月下旬には、恋人が連乗する車にラスベガスで乗っていたところ、大麻の匂いがするということで、「ワイン・ラスベガス」の前あたりで車の停止を命じられた。その後、ヒルトンさんのバッグからコカインが見つかり逮捕された。恋人も逮捕されており、恋人はウィンのナイトクラブのマネージャーに昇進したばかりだったようだ。ヒルトンさんはウィンに入内禁止となったようだ。▼来日していない最後の人物女優と言われている